に從ふへし但外國の棉を以て製したる絲、其絲を以て製したる織物、其顔料を以て薬付を爲したる陶器等は一般の出品に異なるとなし

第十項　凡て出較品い或は出品と種類を異にするも妨なし

又工場及び其製造の雛形寫圖、製造用の器具、製品の原料等い參考の爲め之を出陳するを得へし但二者共ゑ形体過大なるものを出陳すべからす且多數多量を要せす

第十一項　會社組合れ出品と必其會社名其組合の名を以てすへし又數人れ名を以てする出品い合同の資本より成りたるものに限るへし但本會れ爲め一時資本を合同するを許さず

第十二項　出品一種ゐ就てれ數量に制限あるとは本會規則第四條に明かして已ゑ公衆の知る所あるべきも其一種の意義ゑ至りてい或は未だ解釋し得ざる者なしと言ふべからず因てろの説明を左に畧く

繭　白繭、黄繭、赤熟、丸綿、又昔、宵熟等は各一種とす

生絲　結束、元賀、製法等れ異あるもれは各一種とす

器械取木棉絲　番號等れ異なるものは各一種とす

織物　色合、模様、織柄、用途等の異あるものは各一種とす

陶飲食器　色合、模様、形体等の異なるものは各一種とす

漆飲食器　同前

畢

○東京府達丙第五十八號　郡區役所　戶長役場　衛生委員

虎列拉病等之發生ヲ豫防スルニハ炎暑之季節ニ先ヲ不潔之場所ヲ充分掃除清潔ニシ該病萌發之媒介物ヲ除去スルヲ以テ最モ急務トス依テ其箇所及實施之方法等精密取調猶當廳土木衛生兩課ト協議ヲ盡シ實際清潔方行屆候樣取計ヘシ此旨相達候事

但當廳官員チシテ實地監督セシムルコアルヘシ

明治十七年五月五日　東京府知事芳川顯正

○東京府達丙第五十九號　郡區役所

長崎縣上縣下縣郡役所ヲ廢シ右郡長ヘ委任事務ハ總テ嚴原支廳長ヘ管掌セシメ候旨該縣廳ヨリ通知有之候條此旨相達候事

明治十七年五月五日　東京府知事芳川顯正

○東京府告示乙第七十九號

當廳本日ヨリ午前八時出頭午後二時退散候條此旨告示候事

明治十七年五月五日　東京府知事芳川顯正

時事新報

雜婚論（前號ノ續）

前號所記ノ次第果シテ事實ニ違フコトナクンハ吾人ハ今正ニ優存劣滅ノ競爭場ニ立ツモノニシテ他ト相對シテ劣等ノ地位ニ下レハ殲滅ノ禍ハ瞳チ旋ラサズシテ至ラン是時ニ當リ手ヲ東チテ禍難ノ至ルヲ俟ナ自然ノ趨向ニ順應シテ自カラ優者ノ列ニ加ハルノ用意ヲ爲サヾルハ智者ノ事ト云フ可ラズ蓋シ其用意トハ衣食住ノ模樣ヲ改良シ或ハ身心ノ發育ニ注意スル等種々樣々ノ方便アランヨリ難ク力ヲ費スヿ少クシテ效ノ最モ速ナルハ結婚ノ區域ヲ廣クシテ良夫良婦ヲ求ルノ道ヲ自由ナラシムルニ在ル可シト信ズ抑モ吾人ノ身心ハ氣候食物其他ノ外狀ニ感化サレテ今日ノ有樣ニ在ルモノニシテ數百千年來ノ習慣ニ原因スルガ故ニ之ヲ改ムルニモ亦長日月ヲ費サヾル可ラズ然ルニ彼ノ婚姻ノ結果ニ於テハ父母ノ體質心性直ニ子孫ニ讓ハル、ノ約束ニシテ其改變必ズシモ千百年ヲ要セズ故ニ體質心性退長ノ人種ヲ擇デ之レト共ニ結婚シ其子モ亦最長人種ニ配偶セハ父祖ノ長質ハ子孫ニ遺傳シテ漸ク人種改良ノ實效ヲ奏ス可キヤ自然ノ約束ニ於テ疑フ可ラザルモノナリ翠少シク項末ニ渉ンヒ微ノ金魚屋ガ金魚ノ極メテ長尾ナルモノヲ得ルニハ先ツ其尾ノ稍長キモノヲ揀ンデ孳尾セシメ其魚兒中ヨリ更ニ長尾ナルモノヲ擇ンデ又之ヲ孳尾セシメ順次如此クシテ遂ニハ極メテ長尾ノ金魚ヲ得ルト云フ又鬪犬鬪鷄等ノ極メテ强大ナル種類ヲ得ルモ亦此方法ニ異ナルコトナシ即チ人力ヲ以テ淘汰ノ作用ヲ動物ニ及ボシタルモノニシテ之ヲ人爲淘汰ト稱ス而シテ此人爲淘汰ノ作用ハ之ヲ人類ニモ及ボスコト決シテ難カラズ聞ク所ニ據レバ曾テ西國ニ曾テ壯士隊ト稱スルモノアリシガ此兵隊中ノ法度トシテ體格强壯ノ女子ヲ特撰シ合格ノ者ノミヲ配偶セシカバ其兵隊中ヨリハ軀幹偉大ノ子女續出シタリト云フ此事果シテ然ランニハ內國ニ在テ男女互ニ配偶ノ人柄ヲ撰ムハ申ス迄モナク苟モ良質美性ヲ具ヘタルモノヲ爲メ一身ノ私ノ爲メ能力遠博ヲ目的トシテ風々良緣ヲ求メ颯々ト雜婚スルモ敢テ其不可ヲ見ザルガ如シ

我鹽遺傳ノ点ヨリ尙一歩ヲ進メテ考フルニ從來ノ經驗ニ於テモ血緣相近キモノ互ニ相婚姻スルヲ可トセズ彼ノ重緣ヲ嫌ヒ同姓相婚ヲ忌ムガ如キ多年ノ實驗ニテ偶然ニモ遺傳ノ理ニ合シタルモノナラン牛馬鷄犬ノ如キモ血緣ノ近キモノ屬相觸ルヽトキハ次第ニ其體質ヲ損スルガ故ニ馬ヲ孳尾セシムルニハ其牝牡ヲ隔遠ノ場所ニ求ムルヲ可トス鷄モ屬同種ノミト觸ルヽトキハ其雛ハ漸ク變シテ彼ノ矮鷄ト稱ス一種ヲ生スルニ至ルト云フ蓋シ動物ニテモ人類ニテモ同一ノ場所ニ棲息スレバ其地方ノ氣候食物等ヨリ同一ノ感化ヲ受ケザルヲ得ズ或ハ疾病ノ如キモ同地方ニ在テハ其病因ヲ同ウスルモ多シ且ツ男女同因ノ病ヲ抱キ偶マ夫婦ト爲リテ子ヲ產スレバ双方ノ宿病ヨリシテ其子ニ顯ハルヽコアリ而シテ彼ノ同姓相婚ノ際ニハ其例特ニ多シト云フ畢竟血緣住所相近キガ故ナランノミ然ルニ彼ノ雜婚トテ各人種間ニテ結婚スルハ數千里外ノ善男善女ガ良緣ヲ求メテ偶マ鴛鴦ノ契約ヲ結フモノニシテ双方從來ノ習慣モ同シカラズ其身心ニ具ヘタル美質モ亦互ニ異ナルガ故ニ今後雜婚ノ風行ハレナバ或ハ大ニ人種ヲ改良スルコトモナラン現ニ亞弗利加ノ喜望峯ト南亞米利加トノ間ニ孤立スル「トリスタン、ド、アキユナ」島ニテハ島民皆ナ白、黑兩種ノ雜婚ヨリ成ダルモノナレヒ「バリ」「ハパナ」「タヒチ」及ヒ北米合衆國等ノ各地ニ於テモ雜種ノ兒女ハ一般ニ狀貌美麗ナリトノ評判アリ其他心性體格等ニ至テハ諸學者間ニ種々ノ證說アレヒ要スルニ優劣兩種相雜婚スレバ劣等人種ニ取リテハ惡結果ヲ來スコト少カルヿ可シ

西洋諸國ニテハ古來交通頻繁ニシテ各國ノ人種互ニ相雜居スルガ故ニ何レノ國ト雖ヒ多少異人種ノ血脈ヲ混セザルハナシ然ルニ我邦ハ島國トハ云ヘ外國人トノ交際古來甚タ薄カリシカバ時トシテ歸化シタル朝鮮支那及ビ東印度等ノ人民ガ在來ノ日本人種ト相混シタル迄ニシテ未タ雜駁ナル血脈ノ混合ナキガ如シ今後內外ノ交通益開ケ互ニ相知リテ相交ルニ至ラバ雜婚ノ風モ次第ニ行ハルヽコトナラン雜婚ニシテ果シテ人種改良ノ成績アラバ我邦ノ人士モ蓋シ之ヲ奬勵スヿ可シ徒ニ之ヲ妨碍シテ改良ノ道ヲ遮ルガ如キハ我輩ノ取ラザル所ナリ

（以下次號）

電報

○五月二日龍動發　伯林駐箚清國公使李鳳苞ハ曾紀澤ゑ代て巴黎府に駐箚すとなり世人之を見て一般ゑ優美（平和の誤ク）の兆候なりとせり

雜報

○御歌會延引　昨日は宮中御學問所に於く月並御歌會を執行の筈なりしも　聖上御不例ゑ依り御延引とありたるよし

○臨時會議　大臣參議は昨日午前十時より永田町なる三條太政大臣の官邸に於く臨時會議を開きたりと右ゐ付同日大臣參議ハ一人も內閣へ出頭せざりしと聞く

○西鄕參議　曩に栃木縣塩原温泉へ赴きゐる西鄕參議は去る三日歸京しゐり

○饗宴　森全權公使には一昨日永田町の自邸へ伊藤參議を始め內外紳士四十餘名を招待歸朝の祝宴を兼ね饗應したり

○佛獨兩國駐箚清國公使　許景澄は今度佛、獨兩國駐箚特命全權公使に任せられ仝氏任地へ到着迄は伯林在留の李鳳苞が在佛公使を兼任する由尤在倫敦公使館には別に更迭なしと本月二日發仕清國我公使館より電報ありたる由

○伯林駐箚米國公使　過日の紙上ゑも掲けし如く獨相ビスマルク侯は米國議院が侯の反對論者たりしラスケル氏を以て日耳曼國ゐ功ありと認め爲に弔詞を送らんと決議したるを聞き侯は獨逸議院ゑて此決議の不當ゐる由を演說したるが獨米間には目下右の如き紛議ゐる故伯林駐箚米國公使ヂルセント氏はビスマルク侯との交情自ゐら親密ならず獨逸新聞も同公使がビスマルク侯の敵手ゐるヘル、ブンセン氏と親交を結ひ居るを以く痛く公使を攻擊しゐる程ゑして一時は米國政府ゑて同公使を召還するゐらん抔の風說もゐりしが聞く所ゑ據ればヂルセント氏は今度暮國駐箚米國公使に轉任したりと云ふ

○諮詢會問題　目下開會中なる警察諮詢會の問題い如何なる事項ありや我々の聞及ばざる所ゐれとも此頃の風說ゑくい賭博犯ゑ關そる事、徵兵遊逸者取扱の件及び監獄署、鎭治監の取締、府縣聯合警察會議規則、衛生上集合取締等其他數ケ條なりと噂それと信憑の程は固より判然なゝず

○判事歸廳　曩ゑ上京せし和歌山始審裁判所長判事吉永成德、鳥取同所長判事池神直清の二氏は一昨四日、廣島控訴裁